

# 令和6年度 第2回 みえスタディ・チェックの結果について



三重県教育委員会事務局 学力向上推進プロジェクトチーム

令和6年度第2回みえスタディ・チェックの結果をお知らせします。各学校では、授業改善、学習内容の理解・定着、学習習慣等の確立が一層進むよう、結果の活用をお願いします。

## 目的

- 児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- 学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

## 実施日

令和6年度冬季休業終了後から令和7年2月19日(水)まで

## 対象学年

小学校第5学年、中学校第2学年

## 実施教科

国語、算数・数学、理科

## 実施校数

小学校 第5学年 340校 中学校 第2学年 151校

※対象児童生徒が在籍する全ての小中学校等で実施

## 各教科の平均正答率・平均無解答率

### 平均正答率

教科	小学校	中学校
	第5学年	第2学年
国語	53.8%	55.3%
算数・数学	44.7%	50.4%
理科	53.3%	52.1%

### 平均無解答率

教科	小学校	中学校
	第5学年	第2学年
国語	6.96%	5.41%
算数・数学	2.95%	7.32%
理科	2.06%	5.14%

## みえスタディ・チェックを活用した授業改善を！

### みえスタディ・チェックの実施 学習内容の定着状況を把握・分析

- 県全体(入力校)の状況と自校の結果を比較した分析
- 問題ごとの分析
- S-P表を活用した子ども一人ひとりの学習内容の定着状況を把握・分析

S-P表から分かること

- クラス全体の強み・弱み
- 児童生徒一人ひとりの強み・弱み

学校/学級別解答状況整理表(S-P表)の見た方

左から右へ、県平均正答率の高い順に問題番号を記載



## 自己肯定感



子どもたちのつまづきを把握

### 子どものつまづきに対応した授業改善

▶▶▶ みえスタディ・チェックを活用した  
授業改善のポイントは、2ページから！

### 個に応じた「できなかった」ところを「できる」ようにする取組

▶▶▶ 関連問題の活用  
みえスタディ・チェック実施後の結果表から、設問ごとに、正解の場合はさらに難しい問題が、不正解の場合は学習内容を遡った問題が提供されます。



みえの学力県民運動ホームページ S-P表、関連問題の説明資料を掲載しています！

[https://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/sensei/kyouin\\_douga/kyouin\\_douga.html](https://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/sensei/kyouin_douga/kyouin_douga.html)

平均正答率  
(平均正答数)

53.8%  
(7.5問/14問)

平均  
無解答率

6.96%

成果

が見られた問題  
(出題の趣旨)

- 表を用いた目的をとらえる(4三)

平均正答率

73.2%

過去同一問題  
正答率

—

改善状況

—

課題

が見られた問題  
(出題の趣旨)

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる(1三)
- 事実と意見とを区別して書く(4二)

32.7%

55.8%  
(参考値)

-23.1%  
(参考値)

22.0%

—

—

※(参考値)…令和5年度全国学力・学習状況調査の平均正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	選択	52.7%
	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したのとして適切なものを選択する	選択	54.4%
	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	記述	32.7%
2	示された述語に対する主語を選択する	選択	59.4%
3	接続語を使って一文を二文に分けて書く	短答	38.0%
4	プラスチックの3R週間を提案する【下書き①】の最初の□の内容を、どのように工夫しているのか、適切なものを選択する	選択	68.9%
	プラスチックの3R週間を提案する【下書き①】の□に、【本の一部】からプラスチックがずっと残ってしまう理由を書く	記述	22.0%
	プラスチックの3R週間 チャレンジ表をどのような目的で書いているのか、適切なものを選択する	選択	73.2%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
5	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	選択	38.3%
	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	選択	71.4%
	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、□でどのように話すかを書く	記述	31.4%
6	「くわえて」を漢字で書いたときの送り仮名が正しいものを選択する	選択	83.2%
	文脈に沿って漢字を読む(勢い)	短答	72.4%
	文脈に沿って漢字を書く(き重なかきい)	短答	55.4%

授業改善のポイント

具体的な設問例

4二

正答率  
22.0%

事実と意見とを区別して書くことができるかどうかをみる問題

学習指導要領における領域内容

【第5学年及び第6学年】B 書くこと

ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックをかくく使おう  
プラスチックは、軽くてじょうぶで持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくならないものとなっています。  
こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りに使われているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

○ 本書は手帳にたくむ。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、八十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は手帳にたくむ。

○ 本書は手帳にたくむ。

○ 本書の一部から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 相田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、八十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は手帳にたくむ。

二 吉田さんは、「下書き①」の□に、「プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くこと」に決めた。そのため、資料をさがし、本を見つけてきた。次は、その「本の一部」です。資料から□に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

○ 本書の一部から言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 相田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、八十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は手帳にたくむ。

相田さん

目的や意図に応じて、文章全体の構成や展開を考えたり、事実と感想、意見とを区別したりして書く

提案する文章は、読み手に提案を受け入れてもらうことができるように書く必要があります。そのためには、説得力を増すために信頼性の高い情報を用いて書いたり、図表を用いて分かりやすくまとめて示したりするなど、書き方を工夫することが大切です。

指導に当たっては、文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にし、取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返り、事実と考えとの関係を明確にできるようにする必要があります。その際、内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確認したり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているかを確認したりする場面を設定することが大切です。また、本や資料に書かれた内容を使って文章を書くときには、出典や資料名を書くことについても指導することが大切です。(第5学年及び第6学年)

課題の改善に向けた授業アイデア例

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

「健康な生活に向けた取組を提案する文章を書こう」

実施対象学年  
第5・6学年

～目的や意図に応じ、文章全体の構成を考えたり、事実と意見を区別したりして書く～

「令和2年度全国学力・学習状況調査 調査問題活用の参考資料(小学校) P18～23

国立教育政策研究所ホームページ

令和2年度  
調査問題活用の参考資料

<https://www.nier.go.jp/kaiha/tsu/zenkoku/gakuryoku.html>



平均正答率  
(平均正答数)

44.7%  
(7.6問/17問)

平均  
無解答率

2.95%

改善  
が図られた問題  
(出題の趣旨)

- 示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができる事柄とできない事柄を特定することができる (11 (2))

平均正答率

65.6%

過去同一問題  
正答率

64.2%

改善状況

+1.4%

課題  
が見られた問題  
(出題の趣旨)

- 180度や360度を基に分度器を用いて、180度よりも大きい角の大きさを求めることができる (7)
- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができる (8)

56.9%

70.8%

-13.9%

26.8%

33.7%

-6.9%

※(参考値) …令和6年度全国学力・学習状況調査の平均正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	8+0.5×2の計算をする	短答	59.8%
2	2は5の何倍かを求める	短答	42.5%
3	12÷0.8の式で求められる問題をすべて選ぶ	選択	22.2%
4	色をぬった部分の長さが $\frac{2}{3}$ mのテープを選ぶ	選択	38.7%
5	午後1時35分から50分後の時刻を書く	短答	84.8%
6	(1) AとBの二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	選択	40.8%
	(2) 二人の速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	選択	37.1%
7	180度以上の角の大きさを求める	短答	56.9%
8	直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	短答	26.8%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
9	(1) 切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	短答	27.7%
	(2) テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選ぶ	選択	47.2%
10	(1) $\frac{1}{4}$ Lの図を直すわけとしてまとめた文章に入る数を書く	短答	42.5%
	(2) $\frac{1}{2} + \frac{1}{4}$ の計算の仕方を表している図について、一部分の大きさが何Lであるのかを書く	短答	57.6%
	(3) 0.75+0.9について、ある数のいくつかを考え、整数のたし算に表して説明するときの求め方を書く	記述	42.6%
11	(1) 学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ	選択	47.2%
	(2) 示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ	選択	65.6%
	(3) A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	記述	20.2%

授業改善のポイント

具体的な設問例

8

正答率  
26.8%

球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

【第3学年】 B 図形

- (1) ア (ウ) 円について、中心、半径、直径を知ること。また、円に関連して、球についても直径などを知ること。  
イ (ア) 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考えるとともに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えること。

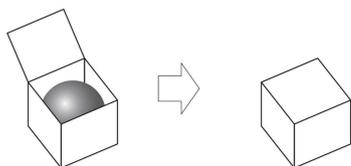
【第5学年】 B 図形

- (4) ア (イ) 立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解すること。  
イ (ア) 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察すること。

8 直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何cm<sup>3</sup>かを求める式を答えましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを求める必要はありません。

図形を構成する要素を見だし、それらを活用して体積を求めることができるようにする

身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにすることが重要です。

指導に当たっては、例えば、本設問のように、球の形をしたボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べる活動が考えられます。その際、立方体を真上や真横から観察するなどして、球はどこから見ても同じ円であることや、その円の直径の長さは球の直径の長さや等しく、立方体の一辺の長さや等しいことを理解できるようにすることが大切です。

また、立方体の体積は、一辺の長さを測ることによって、(一辺) × (一辺) × (一辺)の式で求められることを理解できるようにすることも大切です。(第5学年)

課題の改善に向けた授業アイデア例

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

「ボールの入った箱の体積を求めよう」

実施対象学年  
第5学年

～球や直方体の体積を基に、直方体の縦と横の長さや高さを見だし、問題を解決する～

「令和6年度 全国学力・学習状況調査報告書 (小学校算数)」P51～53

国立教育政策研究所ホームページ

令和6年度  
全国学力・学習状況調査  
報告書

<https://www.nier.go.jp/kaiha/tsu/zenkoku/gakunyoku.html>



令和6年度第2回  
教科に関する結果  
小学校第5学年  
理科

平均正答率 (平均正答数)	53.3% (11.7問/22問)	平均 無解答率	2.06%
------------------	----------------------	------------	-------

改善 が図られた問題 (出題の趣旨)	平均正答率	過去同一問題 正答率	改善状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空気のあたためり方を考察するために、実験結果を基に自分の考えを改善することができる (5 (3))</li> </ul>	72.8%	66.9%	+5.9%
課題 が見られた問題 (出題の趣旨)	平均正答率	過去同一問題 正答率	改善状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録する方法を理解している (7 (2))</li> <li>• 自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる (7 (3))</li> </ul>	62.5%	73.3% (参考値)	-10.8% (参考値)
	51.1%	67.0% (参考値)	-15.9% (参考値)

※(参考値)・・・令和4年度全国学力・学習状況調査の平均正答率

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	(1) 顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ	選択	61.0%
	(2) メダカやインゲンマメの成長に必要な養分のとり方について、共通する事柄を選ぶ	選択	65.5%
2	(1) インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選ぶ	選択	46.1%
3	(1) プロペラがより速く回る回路を選ぶ	選択	55.3%
	(2) プロペラが回らなかった回路を選ぶ	選択	57.1%
	(3) プロペラが回る適切な方法を選ぶ	選択	76.9%
	(4) 回路に流れる電流の向きと大きさを検流計を使って調べる	選択	29.9%
4	(1) 方位磁針の針の位置から、東の向きを選択する	選択	31.9%
	(2) 太陽とかげが、観察後のように動かす方を選択する	選択	68.3%
5	(1) 実験結果を基に、水のあたためり方について考えた文の空欄に入る適切な言葉を書く	選択	77.8%
	(2) 空気のあたためり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を書く	選択	60.8%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
5	(3) 空気のあたためり方について、実験結果から考え直した内容を選ぶ	選択	72.8%
	(4) 空気のあたためり方の実験結果を基に、部屋全体を早くあたためるには、エアコンの風の出る向きを下にすればよい理由を書く	記述	43.5%
6	(1) 流されてきた土や石を横もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ	選択	76.4%
	(2) 流れる水の働きによる土地の侵食について、自分の考えと異なる他者の予想を基に、斜面に水を流したときの立てた棒の様子を選ぶ	選択	51.6%
	(3) 一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	選択	43.1%
	(4) 一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く	記述	28.8%
	(5) 上流側の雲の様子や雨の降っているところと下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ	選択	54.1%
7	(1) 光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	選択	27.9%
	(2) 実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	選択	62.5%
	(3) 鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	短答	51.1%
	(4) 問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	記述	30.8%

授業改善のポイント

具体的な設問例  
**7(3)**  
正答率  
**51.1%**

自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる問題

学習指導要領における区分・内容  
【第3学年】A 物質・エネルギー  
(3) ア (ア) 日光は直進し、集めたり反射させたりさせたりできること。  
(イ) 物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わること。  
【第3学年】B 生命・地球  
(2) ア (ア) 日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること。

7 次は、たかしんたちは、日光をはね返して観察する動画をみて、先生とやってみることにしました。

たかしん  
調べるには、黒色がいちばんよいと聞いています。黒色がいちばんよいと聞いています。黒色がいちばんよいと聞いています。

はなこ  
ほかの色を試してみたい。赤色はどうなのかな？

たかしん  
先生が言ったように黒色を入れて、温度をはかろう。【問題】が読めた。

【目的】  
はね返した日光をのったかんにあてると、何色のかんの温度が最も高くなるのか。

たかしんたちは、次のような実験をしました。

【方法】  
用意した温度計

たかしん  
①同じ黒紙、同じ大きさの空きかんに水をぬる。(黒色、赤色、黄色、白色)  
②それぞれの空きかんに、用意した黒紙を入れて、温度計をさす。  
③はね返した日光をのったかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの水の温度をはかる。

【結果】  
(3) 10分後、かんのようすを見ると、はね返した日光の位置がずれていることに気づきます。

たかしん  
はね返した日光がずれていることに気づきました。

はなこ  
鏡にさわっていないのに、はね返した日光の位置がずれるということは、実験の仕方がおかしいか、実験の【方法】が間違っているのかな？

たかしん  
たかしんたちは、実験の【方法】を見直し、手順を加えました。下の【方法】にあてはまるように変更をしました。

【結果】  
①はね返した日光をのったかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの水の温度をはかる。  
②受け、太陽の位置の変化に合わせて、はね返した日光がのったかんにあてようとして、結果をみる。

実験の方法を検討して、改善し、解決方法を発想する

自分で発想した実験の方法と、追加で分かった事実を基に、実験の方法を検討して、改善し、解決の方法を発想できるようにするためには、観察、実験などを行った後に、適切な方法であったかを確認できるようにすることが重要です。

指導に当たっては、例えば、本設問のような実験では、はね返した日光を缶に当て続けなければならないが、実験の途中で、はね返した日光の位置がずれていることから、その要因が太陽の位置の変化であることを見だし、同じ条件で実験を続けられるようにするための方法について検討する場面を設定し、改善する学習活動が考えられます。

また、同じ実験を行ったにもかかわらず他のグループと違う結果になった場合や、実験を複数回行った結果にばらつきが生じた場合などに、その要因を見だして、実験の方法を検討し、必要に応じて改善する学習活動も考えられます。(第3学年)

課題の改善に向けた授業アイデア例

詳細は右記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

「てこの規則性」

～結果を基に結論の根拠を明らかにして表現する～

実施対象学年  
第6学年

国立教育政策研究所ホームページ

令和4年度  
全国学力・学習状況調査報告書

[https://www.nier.go.jp/kaiha/tsu/zenkoku\\_gakuryoku.html](https://www.nier.go.jp/kaiha/tsu/zenkoku_gakuryoku.html)



平均正答率  
(平均正答数)

55.3%  
(8.3問/15問)

平均  
無解答率

5.41%

**改善**  
が図られた問題  
(出題の趣旨)

- 効果的なスピーチをするために話し方を工夫することができる (2-)

平均正答率

71.4%

過去同一問題正答率

70.8%

改善状況

+0.6%

**課題**  
が見られた問題  
(出題の趣旨)

- 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができる (5三)

31.4%

55.7%  
(参考値)

-24.3%  
(参考値)

※(参考値) …平成28年度全国学力・学習状況調査の平均正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	一 適切な同音異義語を選択する(中学生を対象に調査する)	選択	90.9%
	二 適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)	選択	37.6%
	三 傍線部「入っていた」の主語として、適切なものを選択する	選択	34.5%
	四 「あやしう」の意味を現代語訳の中から抜き出す	短答	56.5%
	五 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する	選択	75.3%
2	一 スピーチをする時の工夫の効果について説明したのとして適切なものを選択する	選択	71.4%
	二 友達からの意見を受け、複数の登場人物を演じる時の工夫について、どのように工夫するのか、なぜのように工夫するのが分かるよう、【本の一部】を参考にスピーチ原稿を書き直す	記述	56.9%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
3	一 意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する	選択	74.3%
	二 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	記述	37.2%
4	一 レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	選択	52.1%
	二 漢字を書く(おし量って)	短答	39.4%
5	三 『「判じ絵」とは何か』と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	短答	46.5%
	一 物語の展開に沿って巳之助の様子を並べ替える	短答	66.9%
	二 物語に書かれている事柄について図鑑の説明から分かることとして適切なものを選択する	選択	58.9%
三 図鑑の説明を読むことで、よく分かるようになった物語の部分と、その部分についてどのようなことが分かったのかを書く	記述	31.4%	

授業改善のポイント

具体的な設問例

5三

正答率

31.4%

本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くことができるかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

【第1学年】B 書くこと

ウ 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

【第1学年】C 読むこと

イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基にとらえること。

三 あなたは、【図鑑の説明】を読むことで、【物語の一部】の中のどの部分についてよく分かるようになりましたか。よくなるようになった部分と、その部分についてのよく分かるようになったのかを、次の条件1と条件2として書きなさい。  
条件1 読み進めて文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。  
条件2 条件1で取り上げた部分について、どのようなことが分かったのかを【図鑑の説明】の内容に触れて書く(150文字以内)。

資料から分かったことについて、根拠を明確にしてまとめる

現代の社会生活とは異なる事柄や風習、道具などが描かれている文学的な文章を読む際には、必要に応じて百科事典や図鑑などの資料を活用し、情報を補いながら読み進めることが大切です。このような読み方は、作品をより理解したり想像を広げたりするとともに、読書の幅を広げることに繋がります。また、文章のどの部分に着目し、どのような事柄を基にして内容を理解したり想像を広げたりしたのかなど、根拠を明確にしてまとめられるように指導することも大切です。(第1学年)

課題の改善に向けた授業アイデア例

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

国語

TYPE I  
B2三

「社会の中にある情報を自分と結び付けて考える」

複数の資料から情報を得て、自分の考えを具体的に書く

多様な情報に触れながら問題意識をもったり新たな発想を得たりすることに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、複数の資料から適切な情報を取り出し、それらに関連させながら自分の考えを具体的に書く学習を提案します。社会の中にある情報を自分と結び付けて考え、新たな気付きや問題意識を明らかにすることを狙います。

「平成27年度全国学力・学習状況調査授業アイデア例(中学校)」P7~8

国立教育政策研究所ホームページ

平成27年度  
全国学力・学習状況調査の結果  
を踏まえた授業アイデア例



<https://www.nier.go.jp/kaiha/tsu/zenkokugakunyoku.html>

平均正答率  
(平均正答数)

50.4%  
(10.1問/20問)

平均  
無解答率

7.32%

改善  
が図られた問題  
(出題の趣旨)

- 与えられた比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求めることができる (9)

課題  
が見られた問題  
(出題の趣旨)

- 二つのグラフにおける $y$ 軸との交点について、事象に即して解釈することができる (14 (1))
- グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる (14 (3))

平均正答率	過去同一問題正答率	改善状況
57.6%	39.0%	+18.6%
77.9%	83.1% (参考値)	-5.2% (参考値)
74.9%	75.9% (参考値)	-1.0% (参考値)

※(参考値) …令和6年度全国学力・学習状況調査の平均正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	$2 \times (-5^2)$ を計算する	短答	63.1%
2	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	選択	50.4%
3	一元一次方程式 $2x = x + 3$ の解について、正しい記述を選ぶ	選択	43.8%
4	半径5cm、中心角が $120^\circ$ の扇形の弧の長さを求める	短答	29.5%
5	直方体において、与えられた辺に垂直な面を選ぶ	選択	44.9%
6	円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ	選択	45.3%
7	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	選択	35.1%
8	与えられた三角形と合同な三角形を選ぶ	選択	64.2%
9	比例のグラフから、 $x$ の変域に対応する $y$ の変域を求める	短答	57.6%
10	$y$ が $x$ に反比例し、比例定数が3のとき、 $x$ の値とそれに対応する $y$ の値について、正しい記述を選ぶ	選択	45.4%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
11	反復横とびの記録の中央値を求める	短答	74.3%
12	50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	短答	46.9%
13	(1) 四角で囲んだ4つの数が12、13、17、18のとき、それらの和が4の倍数になるかどうかを確かめる式を書く	短答	70.5%
	(2) 四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	記述	25.8%
14	(1) ストープの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフと、 $y$ 軸との交点Pの $y$ 座標の値が表すものを選ぶ	選択	77.9%
	(2) 18Lの灯油を使い切るまでの「強」の場合と「弱」の場合のストープの使用時間の違いをおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	記述	29.1%
	(3) 結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストープの設定の組み合わせとその使用時間を書く	短答	74.9%
15	(1) 気温差が $9^\circ\text{C}$ 以上 $12^\circ\text{C}$ 未満の階級の度数を書く	短答	76.0%
	(2) 2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いること的前提となっている考えを選ぶ	選択	39.6%
	(3) 「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	記述	13.0%

授業改善のポイント

具体的な設問例

14 (3)

正答率  
74.9%

グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題

学習指導要領における領域・内容

【第2学年】C 関数

- (1) 一次関数について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。  
(ア) 一次関数について理解すること。

数学的な表現を事象に即して解釈できるようにする

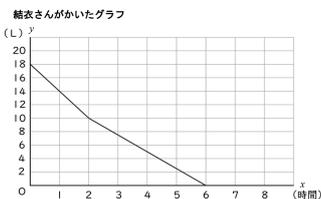
式やグラフなどの数学的な表現を事象に即して解釈できるようにするために、与えられた条件やこれまでの問題解決の過程や結果と数学的な表現を関連付けて考えられるように指導することが大切です。

指導に当たっては、結衣さんがかいたグラフにおいて、点(2, 10)で直線の傾きが $-4$ から $-2.5$ に変わることや、 $x$ 軸と点(6, 0)で交わることに着目できるようにすることが大切です。

また、ストープを使用し始めてから2時間で設定を変更していることや、ストープを6時間使用して18Lの灯油をちょうど使い切っていることを確認することも大切です。

その上で、ストープの使用時間と灯油の残量に示された式やグラフを基に「はじめの設定を『強』にして2時間使用し、その後、設定を『弱』にしてから4時間使用する」ことを読み取ることができるよう指導することが大切です。(第2学年)

(3) ストープを6時間使用して、18Lの灯油をちょうど使い切るように、「強」と「弱」の設定の組み合わせを考え、使用計画を立てます。そこで、結衣さんは、(1)のストープの使用時間と灯油の残量のグラフをもとに、次のようなグラフをかきました。



結衣さんがかいたグラフのようすは、ストープを次のように設定して何時間使用するかを表しています。

はじめに設定を「ア」にして「イ」時間使用し、その後、設定を「ウ」にしてから「エ」時間使用する。

上の「ア」「ウ」には「強」、「弱」のどちらか1つを、「イ」「エ」には当てはまる数をそれぞれ書きなさい。

※解答は、解答用紙に書きなさい。

課題の改善に向けた授業アイデア例

詳細は下記の二次元コードを読み込むかリンクからご覧ください。

「ストープの灯油をちょうど使い切るための設定の仕方を考えよう」

～グラフを事象に即して解釈し問題を解決すること～

「令和6年度全国学力・学習状況調査報告書(中学校数学)」P68～69

国立教育政策研究所ホームページ

令和6年度  
全国学力・学習状況調査  
報告書



<https://www.nier.go.jp/kaiha/tsu/zenkoku/gakuryoku.html>

平均正答率  
(平均正答数)

52.1%  
(10.4問/20問)

平均  
無解答率

5.14%

改善  
が図られた問題  
(出題の趣旨)

- 地震のデータを分析して解釈し、緊急地震速報が発表されたのと同時にS波が到達する地点の、震源からの距離を求めることができる (5 (3))

平均正答率

過去同一問題正答率

改善状況

55.8%

43.5%

+12.3%

課題  
が見られた問題  
(出題の趣旨)

- 顕微鏡を使って観察する場面において、倍率、視野の明るさ、対物レンズからプレパラートまでの距離の関係について正しく理解している (1 (3))
- 初期微動継続時間について理解している (5 (1))

58.0%

73.3%

-15.3%

32.6%

54.2%

-21.6%

各問題の正答率

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
1	(1) 被子植物と裸子植物を比較し、被子植物のみにあてはまる特徴を選択する	選択	44.1%
	(2) 双子葉類の根・茎・葉の特徴の組み合わせを選択する	選択	61.4%
	(3) 顕微鏡を使って観察する場面において、対物レンズを低倍率から高倍率に変えたときの、視野の明るさ、対物レンズからプレパラートまでの距離を選択する	選択	58.0%
	(4) 植物の呼吸と光合成で出入りする気体について調べる実験において、実験結果を基に、適切な考察を選択する	選択	68.0%
2	(1) 水100gに物質50gを加えた水溶液の質量パーセント濃度を求める	短答	20.3%
	(2) 「石灰水が白くにごった」等の実験結果から、発生した気体の名称を選択する	選択	85.1%
	(3) 溶解度のグラフから、2種類の物質のうち一方が水に全て溶ける温度を選択する	選択	39.5%
	(4) 実験結果や溶解度のグラフから、考えられる物質の組み合わせを選択する	選択	18.9%
3	(1) 回路の図から、実験器具の名称と電気用図記号の組合せを選択する	選択	60.1%
	(2) 実験の結果を示した表から電流の値を読み取る	短答	74.6%

問題番号	問題概要	問題形式	正答率
3	(3) 実験の結果を示した表から電流の値を読み取り、オームの法則を使って抵抗の値を求める	短答	43.8%
	(4) 豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を選択する	選択	84.4%
4	(1) 背骨のある動物の名称を答える	短答	44.8%
	(2) えらぶたの開閉回数の平均値を求める理由として適切なものを選択する	選択	59.7%
	(3) 課題に対して適切な(課題に正対した)考察になるよう修正する	記述	56.9%
5	(1) 「初期微動継続時間」の名称を書く	短答	32.6%
	(2) 地震計がP波を検知した地点の、震源からの距離を求める方法を選択する	選択	44.8%
	(3) 緊急地震速報が発表されたのと同時にS波が到達する地点の、震源からの距離を選択する	選択	55.8%
	(4) 緊急地震速報の発表からS波が到達するまでにかかる時間を選択する	選択	45.4%
	(5) より早く緊急地震速報を発表するための方法を「P波」「地震計」という言葉を使って記述する	記述	43.0%

授業改善のポイント

具体的な設問例

1 (3)

正答率  
58.0%

適切な観察器具の扱い方を身に付けているか をみる問題

学習指導要領における区分・内容

【第2分野】 (1) いろいろな生物とその共通点

身近な生物についての観察、実験などを通して、次の事項を身に付けることができるように指導する。

ア いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(ア) 生物の観察と分類の仕方

㊦ 校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生活していることを見いだし、理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付けること。

1

(3) 顕微鏡を使って茎の断面を観察するとき、対物レンズを低倍率のものから高倍率のものに変えると、視野の明るさと、対物レンズからプレパラートまでの距離は、それぞれどのように変わりますか。最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 視野は明るくなり、対物レンズからプレパラートまでの距離は長くなる。
- イ 視野は明るくなり、対物レンズからプレパラートまでの距離は短くなる。
- ウ 視野は暗くなり、対物レンズからプレパラートまでの距離は長くなる。
- エ 視野は暗くなり、対物レンズからプレパラートまでの距離は短くなる。

顕微鏡の適切な操作方法を身に付ける

顕微鏡の適切な操作方法を身に付けるには、各部位の役割や適切な操作方法を理解し、対象や目的に応じて操作できる技能を習得することが大切です。

指導に当たっては、例えば、生徒が顕微鏡を実際に操作する時間を十分に確保した上で、演示用の顕微鏡で見えている様子をテレビモニターに映し出しながら、それぞれの操作によって見えている様子がどのように変わるのか捉えられるようにすることが考えられます。

また、限られた台数の中でも、観察する機会を増やしたり、観察対象物を複数にしたりして、一人ひとりが顕微鏡を操作できるようにすることなども重要です。

さらに、顕微鏡による観察では、光量の確保や焦点の調節などが最良の状態になっていないことがあるので、教師や生徒同士が互に見えている様子を確認し合うことも大切です。